

瀧口 剛
法学研究科・教授

[研究]

戦間期を中心に大阪財界の政治経済史、通商政策などについて研究している。本年度は特に自由通商運動と1930年代の政治変動の関係について研究した。

研究成果としては、「満州事変後における自由通商運動の軌跡 ――「大東亜共栄圏」への道――」甲南法学第57巻第3・4五号 2017年3月、「戦後日本のアジア主義論」89～106頁 田中仁編『21世紀の東アジアと歴史問題』法律文化社、2017年4月刊行を執筆した。

[教育]

学部では、日本政治史(4単位)、フレッシュマンセミナー(2単位)、演習1・2(4単位)、大学院(法学研究科)において日本政治史・同特殊講義(2単位)、日本政治総合演習(2単位)、研究指導1～4(2単位)の授業を行った。また、担任教員、指導教員として3名の大学院生の研究指導を行った。

[管理運営]

学内委員として、アーカイブズ兼任教員を務めた。部局内委員としては、運営委員会、資料室(委員長)、計画室、評価室(委員長)、の各委員を務めた。

[社会貢献]

「平生鈔三郎日記」の編集員として日記の編纂活動にたずさわった。